

農業委員会だより



別海町中西別 小林晴香さん
→インタビューはP 4に掲載

主な内容



- P2 「根釧女性農業委員の会」研修会・総会
- P3 北海道産業貢献賞受賞・事務局体制
- P4~5 活いき農業女性紹介
- P6 農家を訪ねて

農業委員会活動報告

「根釧女性農業委員の会」

令和6年 5月14日 研修会
8月29日 総会

開催

根室、釧路地区の女性農業委員の相互研鑽及び資質向上、農業委員会活動充実、情報交換の場として、「根釧女性農業委員の会」研修会及び総会が別海町生涯学習センター「みなくる」で開催されました。

研修会は、北海道農業会議より講師を招き、主に農業者年金についての講義と意見交換、引き続き懇親会を行いました。会員の自己紹介では、主な農業経営として酪農の方が多かったのですが、中立委員で活動されている方も半数ほど占めていました。翌日は、別海町郷土資料館及び加賀家文書館を訪問し、別海町の酪農の歴史を学芸員より説明いただきました。

また、総会は、根室地方農業委員会連合会の本田会長にもお越しいただき、ご挨拶を賜りました。改選により今回新しく会員となった釧路市（音別町）の伊藤委員の自己紹介では、経営が「ふき農家」ということで、注目を集めていました。その伊藤委員は、多くの女性農業委員が活動していることに驚いていました。

「根釧女性農業委員の会」は、現在、根室地区6名、釧路地区17名の女性農業委員で構成されています。

令和5年度（R5年8月～R6年8月）は別海町が会長職ということで、畠山委員が会長を務めました。

当町では現在、畠山委員を含めて3名の女性農業委員が活躍しています。



総会で議長を務める別海町農業委員会畠山委員

研修会・総会を終えて



視察研修で別海町郷土資料館を訪れて

畠山委員

会員の皆様、職員の皆様のご協力のもと、無事に会長職を終了出来たことにホッとしました。「根釧女性農業委員の会」の存在は、今後もますます重要になってくると思います。

竹花委員

皆さん、農業委員として意欲的で前向きに頑張っているのがヒシヒシと伝わり、自分と同じように頑張っている方たちがいて嬉しく思うと同時に見習いたいと思いました。

豊島委員

他町村の女性農業委員皆さんの熱意を強く感じました。ぜひ女性ならではの意見を通して頂きたいです。そんな風通しのよい環境であれば、もっと女性の活躍も見込めると思います。

北海道産業貢献賞を受賞されました！

前別海町農業委員会会長の小野栄一さんが、令和5年度北海道産業貢献賞（農業関係功労者）を受賞されました。

小野さんは、平成14年以来、農業委員会委員、会長職務代理、会長として、農地の適正利用と会務運営に取り組み、担い手への農地集積率向上などに尽力され、地域農業の振興に多大な貢献をされました。

農地の権利移動には、 農地法の許可が必要です。

毎月、農業委員会総会にかかる案件は、農業委員による現地調査を行っています。

農地の転用・売買・贈与・賃借等をしたときは、お近くの農業委員へ相談を！

現地調査中の農業委員▶



事務局体制

事務局長

総務担当 2名 ☎0153-74-9853 (直通)

農業委員会総会に関すること、農業者年金に関すること 等

農地調整担当 4名 ☎0153-74-9852 (直通)

農地の権利移転、転用に関すること、農地中間管理事業に関すること、農地所有適格法人に関すること 等

女性農業者のみなさんへ

農業者年金は今のあなたと
老後のあなたを応援します

老後生活への
備えは十分ですか？

ポイント1 「終身年金」で、女性の長い老後をしっかりとサポートします。

ポイント2 家族経営協定を結べば保険料の国庫補助も受けられます。
女性の農業経営への夢をしっかりと応援します。

ポイント3 税制面で大きな優遇措置

詳しくは… 農業者年金基金 検索 <https://www.nounen.go.jp>



小林 晴香さん (43歳) 別海町中西別

株式会社mosir代表取締役。両親、女性従業員2名、女性パート職員2名と共に営農。夫は削蹄師。3歳と1歳の双子ちゃんのお母さん。

就農のきっかけ 妹弟に継ぐ意思がなかったなので、それならば長女のわたしが、と思い就農した。

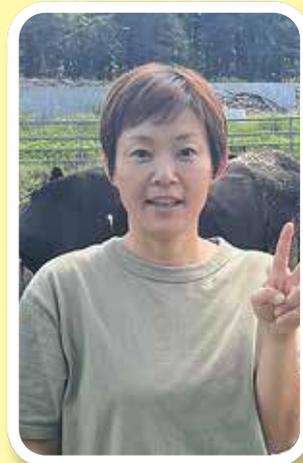
良かったことと苦労したこと Uターンで就農するときには不安も多少あったが、酪農家のライフスタイルがとても自分には合っていたので、良かった。しかし、早起きだけはなかなか慣れずに苦労したこともあった。

酪農の魅力や楽しいこと 自分のスタイルに合った営農ができる。生活の中に常に牛がいること。

将来の夢や今後の抱負 酪農を思う存分楽しんで、80歳まで現役でいたい。酪農家の可能性をもっと広げていきたい。

将来の酪農に対して思うこと 急激な資材の高騰や突発的な需要の減少など、その時代や情勢に柔軟に対応する力が求められるかなと思う。まだまだ苦しいときもあると思うが、ピンチをチャンスに変えていきたい。

酪農をしながらの子育ての苦労や子どもの将来について思うこと 仕事がある早朝や夕方に子どもに手のかかる時期もあったので苦労した。そんな苦労や楽しく働く姿をしっかりと見せながら、将来子どもたちが酪農家で育ったことを誇りに思ってもらえたらいいなと思う。



取材：加藤広報副委員長

It's My Life

「別海町の生きいき農業女性」
を紹介します。

安江 ふみさん (41歳) 別海町中春別

今年で19年目の酪農ヘルパー（JA中春別酪農ヘルパー利用組合）。現在は主任補佐を務めています。

出身地 中標津町

従事のきっかけ 実家の酪農を手伝おうと思っていたところ、合同企業説明会があり、たまたま来られていた中春別酪農ヘルパー利用組合を見つけました。そこで、一度外で経験してから戻ろうと思い、話を聞きに行ったのがきっかけです。

良かったこと 生きていく上で必要である食に関わる仕事に携わっていること。



酪農の魅力 牛とふれあうことで癒される。

仕事の内容 農家さんがお休みを取れるよう代わりに仕事をする。基本的には、搾乳、哺育、給飼、清掃となっています。

苦労したこと ヘルパーという仕事柄、農家さんによって様々なやり方があり、それを覚えるのが大変でした。

困ったこと、大変なこと 機械作業が苦手なので、時間がかかってしまうことです。また、後輩に仕事を教えるのが難しいと感じています。

休日の過ごし方 寝て体力回復をする。元気があれば友達とランチ。

お世話になった方々 ヘルパーになるための研修をさせていただいた農家さん（二軒）。仕事を教えてくださったヘルパーの先輩方。仕事に行かせていただいている農家の皆さん。事務仕事が苦手で、頼りっぱなしの事務局の皆さん。ありがとうございます。

今後の抱負 扱える機械を少しでも増やせるようにしていきたい。牛の状態をよりしっかり見れるようにしたい。

将来の酪農に対して思うこと 従事する人が増えて欲しいです。

取材：猿谷広報委員

西塚 真美さん（31歳） 別海町泉川

両親、叔父と共に営農（西塚牧場）。趣味でアクセサリを製作しています。

就農のきっかけ 3姉妹で、姉2人が就職してしまったことも1つのきっかけです。両親と農業をすることにも楽しさを知りました。

良かったこと 自然の中で、牛のほかにも動物とふれあえる、都会では出来ない経験もあり、今でも学ぶことがたくさんあります。

苦労したこと 和牛を飼育していたときは管理がとても大変でしたが、子牛の成長を見ることは楽しいです。今後も育成に力を入れていきたいです。



休日の過ごし方 趣味のレジン製作をしています。農作業のような単調な作業より色々なアイデアが浮かんで楽しいです。

写真のアクセサリの中のお花は、真美さんが育てドライフラワーにして入れています。アクセサリはネット販売もしています。

取材：竹花広報委員



会長のつぶやき

「農業委員会だより」第14号をお読み下さりありがとうございます。

寒い冬がもうすぐ来ます。望みたい！エネルギーコスト低減。

記：信夫会長（広報オブザーバー）



◆◆◆◆ 広報委員長の小部屋 ◆◆◆◆

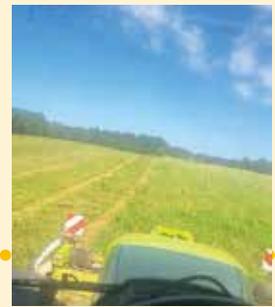
縁あって、3年前からロールディスプレイを置く作業をやらせていただいています。

置いたらすぐに写真を撮る観光客がいて、なんか嬉しいです。



スープカレーの札幌らっきょが「海とらっきょ」として「道の駅おだいとう」に期間限定出店。

この夏とても賑わっていました。



待ちに待った草刈りがはじまりました～！（9 / 3）
今年の2番草収穫は遅れました。

記：加藤広報委員長



岸本農場 農家を訪ねて in 上春別

岸本さんのチャレンジ！

モンベリアード、ジャージー、ホルスタインのトリプルブリーディング。

個性的な牛たちは、希望の星☆



編集後記



本誌の編集会議で奥さんたちの活躍のエピソードで盛り上がっていた。今号の誌面でもまた農業を楽しんでいる女性の記事を取り上げることとなった。農業は女性の活躍で成り立っているようだ。我が農場でもこのユニークな娘たち（写真の牛）の活躍に期待したいものだ。

記：岸本広報委員

